

様式第2号(第3条、第6条、第7条及び第8条関係)

事業計画書(実績書)

令和7年 3月 31日

団体名 綾部市母子寡婦福祉会

事業の目的 (何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。)	行政や関係団体との緊密な連携の下、会員のための各種行事・役員の研修等を行い、母子寡婦の生活と心の安定・福祉の向上に努めた。コロナ禍収束後も物価高騰対策のための京都府緊急予算が下りたため生活必需品配布を実施した。
事業の名称	綾部市母子寡婦福祉会
事業費 (市補助金)	559,312円 (144,000円)
補助金の使途 (団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。)	・総会、役員会の開催 ・京都府母子連の交流会・研修会への参加 ・季節ごとの仲間づくり行事
事業実施期日	令和6年 4月1日 ～ 令和7年3月31日
事業実施場所	綾部市・京都市・亀岡市 他
事業の概要 (事業の実施方法、内容について記入してください。)	・「母子奨学金申請」の証明会 ・総会 ・いきいきふれあい事業「八つ橋作り体験と梅小路公園」(京都市) ・中部ブロック懇話会(京丹波町) ・生活必需品配布 ・夏まつり ・京都府母子寡婦福祉大会(京都市) ・全国母子寡婦福祉大会(富山市) ・中部母子交流会(亀岡市) ・寡婦くらしの懇談会「陶芸体験」(丹波篠山市) ・クリスマス寄せ植え教室 ・ふれあい出張市長室 ・バレンタインお菓子作り ・指導者研修会(京都市) ・いちご狩り ・知事と新入学児等のつどい(京都市)

補助金の効果(成果) (計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。)	様々な行事を開催し、家庭だけではできないことを多くの母子が体験できた。社協様との共催行事・他支会との交流会を通して母子会員同士の仲間づくりや母子寡婦の交流ができた。直接会う機会を増やすことで役員が会員の困りごとに気づいたり、悩みを抱える会員の話を聴く雰囲気もできてきた。「母子家庭奨学金等申請証明会」などを通じ、会の存在を広く市民の皆様に知っていただくことができ、今年も会員増となった。「ふれあい出張市長室」で活動の様子や私たちの声を行政の皆様に直接届けることができたり、京都府や全国の研修大会に参加することで役員の視野が大きく広がった。
---	--

様式第4号(第3条、第7条及び第8条関係)

収支予算書(計算書)

令和7年 3月 31日

団体名 綾部市母子寡婦福祉会

(単位 円)

収入の部	区 分	予算額	収入済額	明 細
	市補助金	144,000	144,000	綾部市
	府母子連補助金	122,500	129,800	いきいきふれあい事業
	京都新聞社補助金	11,600	11,900	いきいきふれあい事業
	会費	60,000	69,000	69名
	京都府交付金	0	94,000	生活必需品配布事業
	社協助成金	0	40,000	歳末助け合い募金
	各種行事参加費	0	68,842	夏まつり・いちご狩り等
	自己資金	0	1,760	
	預金利息	0	10	
合 計		338,100	559,312	
支出の部	区 分	予算額	支出済額	明 細
	事業費	288,100	518,345	・いきいきふれあい事業 (182,570円のうち市補助分4,780円) ・生活必需品配布事業(94,835円のうち市補助分835円) ・夏まつり(市補助分5,800円) ・いちご狩り(市補助分8,080円) ・寡婦くらしの懇談会 ・会議・研修 ・各団体の分担金
	事務費	30,000	40,967	・事務用品・切手等
	雑費	20,000	0	
合 計		338,100	559,312	
差 引		0	0	